

有田内山グランドデザイン検討委員会 意見（住みたいまちづくり）

分野	現状／課題	項目	意見		補足説明
			アンケ	部会	
定住	1 内山地区の人口は、町内4校区中最も少なく、減少率も大きい	空き家	① 空き家の有効活用	☆	① 陶器市に表通りの空き店舗を貸し出すことで、維持管理に必要な収入が確保できるため、貸し出しに消極的である。 ② 空き家を年間通して活用できれば、これまでにない色々な展開が考えられる。 ③ 陶器市貸出しによって、空き家が空き物件になってないためマスター・サブリースの仕組みにより、流動する可能性がある。 ④ 空き家の流通促進を図るため、信用が高い第三者が借りて改修し、転貸する。 ⑤ 空き家を解体しても、再建築不可となる土地が多い（土地活用が循環しない） ⑥ 空き家見学ツアーなど、空き家の取り組みを発信すべき。 潜在的空き家は多くあるのに、その情報にアクセスできない ⑦ 家族で住むとなると普通の住宅が好まれる傾向がある。
	2 内山地区内の空き家は概ね17% （建物外観目視調査、※H29年度調査）		② 年間を通した空き家の活用方法		
	3 空き家は、市場流通性が低いものが多い。 （建物の程度と生活道路幅など周辺環境を含んで判断）		③ 空き家活用のルールによる流動化		
	4 NPO法人と連携し、空き家流通促進事業を展開している。 （内山地区の居住実績は、僅少）		④ 空き家活用（マスターリース・サブリース）		
	5 谷間に住居や店舗が形成されているため、土砂災害警戒区域の指定箇所が多い。		⑤ 再建築不可の土地が多い	☆	
	6 住宅用地として低未利用地の利用を促進する。		⑥ 空き家等の情報発信	☆	
生活	1 内山地区の高齢化率は、町内4校区中最も高い。 2 電線地中化によって災害時、電柱倒壊の回避に繋がる。 3 内山通り沿いの居住者は、少し離れた駐車場を利用するケースが 4 駐車場に駐車せず、路上や近くの公的空地への駐車が多い。 5 高齢化や運転免許返納を見据えた交通手段の再構築が必要である。 6 内山地区の交通体系は、町コミュニティバス及びタクシー運行である。 7 内山地区に生活必需品を買う店舗が少ない。 8 移動販売だけでは、すべての生活必需品が揃わない。 9 住宅地に近い土砂災害危険区域の災害対策が必要である。 10 災害情報が確実に取得できる仕組みの構築が必要である。 11 内山通りを通る車両の速度が速くまた通過音も凄く、更に大型車も通行するため歩行し難い。（生活面） 12 高齢者が避難所へ移動する手段を構築する必要がある。	防災	① 防災面での安心安全なまちづくり		① まちづくりを進めていくうえで、防災対策が出来てなければ定住や生活には繋がっていかない。 ② 裏通りの道幅が狭く、災害時の避難に支障を及ぼすため、道路拡張・整備が必要である。
			② 避難・迂回路の整備		
		地域交流	① 地域コミュニティスペース		① 地域の方が集えて交流ができるコミュニティスペースの確保が必要である。
			交通	① 住みやすさを感じてもらえるよう歩行者天国の実験	
		② ・内山通りの歩道幅（路肩）が狭い ・路上駐車が多い		☆	② 歩行する際、通行車両と距離が近く不安を感じるため、対策が必要である。 子どもを遊ばせるには怖い。
		③ ・大型車両の通行規制 ・速度減速 ・岩崎踏切の右折禁止により、内山が国道へのアクセス路となっている		☆	③ 内山通りの延長にコンテナ基地があるため、大型車両の通行、速度超過の車両による通行音・風圧によって歩行等に障害がある。 岩崎踏切が右折禁止の為、国道へのアクセス路となっている。
買い物	① 居住者の生活必需品の需要調査			① 生活するうえで、どんな生活必需品がどのくらいの頻度で必要か調査が必要である。	
	② 地区内の具体的な交通計画		② 居住者・観光客、両方の視点で地区内の交通計画を立てる。		
	③ 移動販売に対する補助金制度		③ 移動販売希望者を募って、補助金を支出し車両製作や運営の支援を行う。		
	④ IT技術を活用した買い物 ⑤ 移動販売 ⑥ タクシー事業者の買い物代行サービス	☆	④ ネットスーパーによる買い物の負担軽減を図る。 ⑤ 会議所跡地や空き店舗を使って、店ができないか。 ⑥ タクシー事業者が店舗と提携するなどし、購入商品の配送サービスを行う。		
共通	その他	① 情報発信とコンテンツの作り込み		① 歴史や文化、観光素材に興味や関心を高めてもらうよう整理した情報発信が必要である。	
② 町並みなど新しいものと古いものが共存するまちづくり			② これまで伝統を継承しつつ、時代と共に新しい技術を取り入れてまちが成り立っている。		
③ 内山地区に開業・居住者からの情報発信			③ 内山地区の魅力を開業された方や移住された方の声を発信して関心を高めてもらう。		
④ 居住者の視点が重要			④ まちの環境を良くするためには、そこに居住する方の視点での取り組みが重要である。		

有田内山ランドデザイン検討委員会 意見（にぎわいづくり）

分野	現状／課題	項目	意見			補足説明	
			アンケ	部会			
商工	1 陶磁器販売が大きく低迷している。 2 陶磁器関連の事業所数・従業員数が減少している。 3 町内の産業分類は、窯業関連が6割を占めている。 4 商店街の再活性化を図るため、出店希望者へ補助制度を創設している。（チェレンジショップ設置事業） 5 「ありた創業スクール」を開催し、円滑な創業を支援する。 6 窯業後継者育成のため独立支援工房赤絵座を無償で貸与している。 7 有田商工会議所並びに陶磁器工業組合等に対し、商工支援の補助を行っている。	雇用	① 新しいタイプの産業を誘致（クリエイティブなど） ② 人口や関係人口を増やすには、雇用の場を確保		☆ ☆	① 有田が持っている伝統、ネームバリュー、デザインなどを掛け合わせた新しい産業の創出で若者を定着させる。	
		産業	① 時代にあったプロダクト商品を創出 ② 世界のクリエイターが集う場作り			① クリエイターが集って滞在し、有田の魅力を活かすことで斬新な発想や技術による新しい有田焼を産む。 ② 有田焼創業400年記念に合わせて実施したクリエイティブレジデンシー事業を継承する。	
		起業	① 起業したい人、店舗を構えたい人を増やす			① 地域の活気や賑わいによって、そこで起業したいということに繋がる。	
		情報の収集・発信	① 有田のネームバリューとポテンシャルを有効に活用 ② 他産地の取り組みを情報収集 ③ 他産地では、定期的な会議を行って課題解決に取り組んでいる			② 同じ焼物産地がどのような取り組みをしているのか、情報収集し、参考になるものを取り組む。 ③ 有田町にも同様の会議があるが、他産地の会議の形態（意思決定など）までは至っていない。	
観光	1 内山通り沿いの店舗は、年間を通して開店しているところが少ない。 2 有田陶器市やイベントに合わせて、一時的に開店する店舗が多い。 3 年間の観光客数は、有田陶器市が概ね5割を占めている。（年間の観光客数約250万人で概ね横ばいで推移） 4 内山地区の駐車可能台数は、有田陶器市以外のイベント時の駐車台数は、概ね確保できている。 5 内山通りを通る車両の速度が速く、また通過音も凄く、更に大型車も通行するため歩行し難い。（観光面） 6 観光客の交通手段は、自家用車8割、観光バス・電車2割である。 7 観光拠点「有田館」の耐震化の対応が必要である。 8 アフターコロナを見据えた新たな観光集客の仕組みを構築する。 9 主な集客イベントは、有田陶器市、秋の陶磁器祭り、雛のやきもの祭りの開催している。 10 有田館内において、年間を通じた企画展を開催している。 11 町観光施設は、有田館、体験工房ろくろ座を管理運営している。 12 町文化施設は、旧田代家西洋館、有田陶磁美術館、歴史民俗資料館を管理運営している。	観光基盤の整備	① ロングステイの観光（滞在型ツーリズム） ② 通り全体を旅籠屋 ③ 高齢者が多く、店舗貸出しへ足踏み ④ 観光客が集えるコミュニティスペース ⑤ 近年、有田陶器市の出店者が減少傾向 ⑥ 駐車場の有効活用 パークシェアリングできないか ⑦ 大型車両の通行規制や速度減速（観光面） 伝建にも悪影響を及ぼしているのでは ⑧ 空き店舗活用（マスターリース・サブリース） ⑨ 観光地と生活空間のバランスが大切だと思う。		☆ ☆ ☆	① かつて町内に滞在して窯元を巡って買い付けされていた文化があり、歴史と観光を組み合わせた取組みが似つかわしい。 ② 物件内の貸出しスペース、生活スペースの住み分けと投資を行い、エージェントと連携した取組み。 ③ 高齢者が多く居住しているため、投資することへ踏み切れない。 ④ 観光客が集って楽しめる場が必要である。 ⑤ 借りの家賃が高く、収支に見合わないこともあって出店者が減少傾向にある。 ⑥ 駐車場が点在しており、誘導も含めて駐車場が分かり難い。 潜在的に駐車場となる場所があるが、認知されていない。整備されていない 都会と地方で駐車場に対する感覚に差がある（目的地のすぐ隣にないと、駐車が無いと思ってしまう） ⑦ 内山通りの延長にコンテナ基地があるため、大型車両の通行、速度超過の車両による通行音・風圧によって歩行等に障害がある。 ⑧ 空き店舗の流通促進を図るため、信用が高い第3者が借りて改修し、転貸する。	
			観光資源の活用	① 有田に来ないと見れない・出来ない体験 ② 焼物のできる製造工程の見学		☆	① 焼物を見る視点での集客よりも、歴史・文化、体験の視点で集客を図る。 ② 有田焼の価値を見せるため、陶石から焼物までの製造工程を見学できる場が必要である。
			文化財の保護・活用	① 他伝建地区の景観等の取組みを情報収集 ② 伝統的建造物群の歴史や価値の情報発信			① 他伝建地区での様々な取組みの情報を収集し、集客に繋がる取組みを調査する。 ② 伝統的建造物群のコンテンツをデジタルデータ化して、幅広く情報発信する。

現状と課題

内山地区の 現状と課題

空き家
年間活用

空き家
バンク

観光資源
の活用

起業

買い物が
不便

駐車場が
使いにくい

伝統的
建造物群
の活用

文化財の
保護・活用

情報発信・
収集

観光基盤
整備

空き家・
空き店舗の
流動性

過疎化の
進行

子育て世代
の定住

防災対策

交通が
不便

通りの
空洞化

雇用確保

人口減少

地域交流

跡地活用

産業振興

現地での
再建築不可

交通による
騒音

施策(案)

重点課題

1. 人口対策

- 空き物件の掘り起こし、住宅用地の確保
→子育て世代と若い陶芸家の定住
- 空き家バンクの充実
- 年間を通じた空き家の活用
- 空き家等の情報発信

2. 生活利便性の向上

- 移動販売などを活用した生活必需品の確保
- 車両による速度超過・騒音・振動の解消
- 駐車場の使いにくさ
- 防災面での安全・安心なまちづくり

3. 観光振興

- 観光客が集える場づくり
- 歴史と文化を活かした滞在型ツーリズムの推進
- 有田でしか見れない・出来ない体験
- 家賃による陶器市出店者数減への対策
- 伝統的建造物群の活用

4. 産業振興

- 新しい産業とプロダクトの創出
- 世界のクリエイターが集う場作り
- 起業したい方を増やす
- 他産地の取組みについて情報収集を行う
- 年間を通じた空き店舗の活用

施策(案)

移住定住の推進

生活・交通環境の充実

関係人口・交流人口の創出・拡大

伝統的建造物群の活用

新たな産業・雇用の創出